

ふだんのくらしのしあわせ

 社協だより Vol.134

令和6年3月号



下田小学校ボッチャ体験

『逆転を狙って「それ!!」』

追う方も追われる方も最後まで気が抜けない。
それがボッチャの魅力です。

お知らせ

- ・ 赤い羽根募金・歳末たすけあい募金へのご協力ありがとうございます
- ・ 令和5年度下田市市民後見人養成講座修了
- ・ 災害ボランティアセンター体験会の開催
- ・ 下田市くらし支援センターのご案内
- ・ ひよこサロンのご連絡
- ・ 下田ロータリークラブ様から米240kgを寄贈していただきました
- ・ 令和5年度下田市社会福祉協議会会長表彰
- ・ 下田市在宅介護者の会 会員募集
- ・ 『フードバンクふじのくに』フードドライブのご報告



10月2日(月) 街頭募金(協力/下田市女性の会・静岡県賀茂健康福祉センター・下田市福祉事務所)、11月6日(月) 街頭募金(協力/朝日小学校4年生)

12月5日(火) 托鉢(協力/下田仏教会)、12月6日(水) 街頭募金(協力/下田市ボランティア連絡協議会)



下田市共同募金委員会 令和5年度

赤い羽根共同募金(令和5年10月~12月)、地域歳末たすけあい募金(令和5年12月)へ温かいご協力を

赤い羽根共同募金

募金額 1,935,767円

区 分	金 額
戸別募金	837,000円
事業所募金	699,000円
職域募金	49,479円
篤志・団体募金	144,761円
学校募金	28,514円
街頭募金	153,267円
赤い羽根付き販売機売上げ	23,746円
合 計	1,935,767円

令和6年1月末日現在

今回の赤い羽根募金は、令和6年度に実施する静岡県内福祉施設・団体の事業、施設整備や市町社会福祉協議会活動のために使わせていただきます。

赤い羽根共同募金は次のように活用させていただいております。

■静岡県内に社会福祉施設・団体の事業や設備整備のために

- ひきこもり支援、居場所づくり、相談員の養成
- 中間的就労事業
- 子ども食堂運営事業
- 難病・慢性疾患の社会参加事業
- 外国籍児童学習支援事業 等

■下田市内の地域福祉活動のために

- 子育て支援事業
- 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練事業
- 寝たきり高齢者在宅介護世帯見舞品事業
- 学校における福祉教育の推進
- ボランティア活動の支援、担い手の育成
- 特別支援学級活動支援
- 各福祉関係・ボランティア団体への活動費助成

共同募金運動のご報告(令和6年1月末日現在)

いただき、誠にありがとうございました。共同募金運動の結果につきまして下記のとおりご報告いたします。

地域歳末たすけあい募金

募金額 2,092,892円

区 分	金 額
戸別募金	576,700円
事業所募金	1,057,128円
職域募金	149,990円
篤志・団体募金	122,223円
街頭募金	186,851円
合 計	2,092,892円

令和6年1月末日現在

地域歳末たすけあい募金は、令和5年12月に実施した生活困窮世帯への見舞金贈呈事業をはじめ、年末の地域福祉事業に活用させていただきました。

- 生活困窮世帯等への見舞金配分事業
- 長期施設入所者見舞金配分事業
- 障害者福祉施設クリスマス会、作品展示・販売会支援
- 令和6年度の市内地域福祉事業の活動費として



長期施設入所者見舞金配分



(問合せ) 下田市共同募金委員会 TEL0558-22-3294

March 2024 社協だより 5

令和5年度下田市市民後見人養成講座修了

下田市市民後見人養成講座は、認知症、知的障害あるいは精神障害等により判断能力が不十分な人の権利を擁護する成年後見人活動に必要な基礎知識を習得し、市民後見人として活動できる人材を育成することを目的として開催しています。本年度は9月14日から2月8日までの期間中全10回の講座が開催されました。成年後見制度概論をはじめ、前半は市民後見人の役割や民法などの基礎知識、介護保険制度や障害福祉サービスなどの福祉制度、後半は成年後見人の実務等を学び、賀茂地域から計20名が修了されました。今後はフォローアップ講座等を通じ、日常生活自立支援事業の生活支援員や法人後見支援員として活動できるよう準備を進めていきます。



『被災してから日常生活に戻るまで』 災害ボランティアセンター体験会



下田市社会福祉協議会はこのたび「災害ボランティアセンター体験会」を下田市立下田小学校体育館にて開催し、市民のみならず令和6年1月1日に起こった能登半島地震の被災地の状況やこれまでに起こった災害発生状況を振り返り、被災するというイメージ作りと災害後の対応等を考えました。

シンポジウムの講師を務めたのは、NPO法人MFP代表の松山文紀さん、静岡県社会福祉協議会地域福祉課長の松浦史紀さん、下田災害ボランティアコーディネートの会会長の永谷和之さんです。NPO法人MFP代表松山さんから実際に能登半島被災地支援をして感じた事を説明していただき、「被災は瞬間にして日常が奪われ、真っ暗闇の中に置かれる状況になるといえます。本来なら血縁・地縁で助け合いの力を活かせることが理想。地縁の対応力を超える被害があった際に『ボランティア』の役割が大切になってきます。」と災害ボランティアの重要性を話していただきました。

この体験会は地域の受援力を高め、災害ボランティアの重要性や理解・関心を寄せていただくことを目的としたもので、当日は区長、自主防災会長・委員、民生委員児童委員、災害ボランティアコーディネーター等多くの方が参加してくださいました。社協職員やコーディネーターがボランティアセンター運営側として、その他参加者のみなさまがボランティア役となり、受付から支援活動への出発、その後の帰着・作業報告までの流れを体験していただきました。災害はいつ発生するかわかりません。日頃から地域の絆づくりを大切にし、今後起こりうるであろう大規模災害に向けて今できることを考え、備えていきたいと思ひます。



ひとりで悩まず ご相談ください (相談無料・秘密厳守)

下田市くらし支援センター

生活にお困りの時、それは経済的な問題だけでなく、心身の問題、家庭の問題などさまざまな問題が重なっていることが多いようです。それらを一緒に考え、できる限り自分の力で生活を営めるようお手伝いをする、相談および支援を行っています。

こんなお悩みありませんか？

- ・病院へ行きたいけどお金がない。家賃や電気・ガス代が払えない。
- ・家計のやりくりが難しい。
- ・仕事がなかなか見つからない。
- ・ひきこもりの家族が心配。
- ・どこに相談すればいいかわからないなど。



〈相談から支援までの流れ〉

- ①まず、困っていることについてお話しください。
- ②ご本人の困りごとを確認し、解決するための方法を一緒に考えます。
- ③ご本人の希望を大切にしながら、必要なお手伝いが行われるよう、計画を立てます。
- ④ご本人の問題を解決するために、関係機関と共にお手伝いを行います。



自立相談支援事業と協力する他の支援事業

住居確保給付金

離職により住居を失い生活に困窮している人、または住居を失う恐れが高い人に対し、安定した就職活動ができるように、期限付きで家賃相当額を支給します。

家計改善支援事業

失業や債務問題などを抱え、経済的に不安を抱えている人に対し、家計を再建するためのお手伝いを行います。

求職者支援制度（ハローワーク）

再就職、転職、スキルアップを目指す方が、月10万円の生活支援の給付金を受給しながら、無料の職業訓練を受講する制度です。訓練開始から訓練期間中、訓練終了後まで、ハローワークが求職活動をサポートします。

生活福祉資金貸付制度（静岡県社会福祉協議会）

低所得・高齢者・障がい者世帯等の一時的なお困りごとに対し、世帯生活の安定と自立を目的に、資金の貸付を行います。但し、貸付は返済を伴うので、貸付条件を満たす必要があります。



不安や心配がある時、
ひとりで悩まずご相談ください

お問い合わせ

下田市くらし支援センター（下田市社会福祉協議会 内）

《受付》 ☎0558-22-3294 / 月～金曜日 8:30～17:15

みんなと
あそぼう!!
ひよこ
おともだちつくろ!
ひよこの
お知らせ



ひよこサロン

おもちゃを用意して皆さんのお越しをお待ちしています。ぜひ遊びに来てください。(未就学児と保護者対象 妊婦の方もどうぞ)

時間: 午前10時00分から正午まで

場所: 道の駅開国下田みなと4階 入場無料

※毎回ボランティアによるイベントも開催します(10時30分~11時00分)

開催日	協力ボランティア団体	イベント内容
3月21日(木)	リトミック教室ドレミポケット	リトミック

下田市立図書館による移動図書館も開設中です。

感染症予防等にて急きょ変更になる場合がありますので、詳細はこちらでご確認ください。

Facebook



Twitter



Instagram



下田ロータリークラブ様が米240kgを
寄贈してくださいました。

～地域の子どもたちの笑顔のために～

当会はこのほど、下田ロータリークラブ様から米240kgをお寄せいただきました。現在伊豆半島の8ロータリークラブは合同奉仕事業の一環として、地域の子ども食堂や子育て支援団体へお米の寄付を行っており、「地域の子どもたちの笑顔のために」と当会へ寄贈して下さったものです。このお米は孤食を防ぐことを目的に開かれる市内の子ども食堂や子育て世代を支援する団体等と共に、地域を担う子どもたちのために大切に使用させていただきます。



『フードバンクふじのくに』フードドライブのご報告
食料40kg分のご寄付ありがとうございました。

当会は今後も1月4日から1月31日まで下田市総合福祉会館にて食料寄付運動を行い、実施期間中に市民のみならず40kg分の食料をご寄付いただきました。誠にありがとうございます。ご寄付いただいた食料は、NPO法人フードバンクふじのくにを通じて、食べるものがなく困っている方へお届けいたします。



令和5年度 下田市社会福祉協議会会長表彰

当会はこのほど令和5年度下田市社会福祉協議会会長表彰を開催し、社会福祉事業功労者として社会福祉法人梓友会の職員 平山悦子さんと、養育里親に登録している増田しのぶさん、増田和昌さん夫婦を表彰しました。

平山さんは2002年に同法人へ入社、現在は小規模多機能型居宅介護みくらの里の所長兼ケアパートナーとしてご尽力されています。

増田しのぶさんは2012年、和昌さんは2018年に養育里親に登録。里親サロンやイベント等にも参加し、子どもの幸せの増進を図っています。



下田市在宅介護者の会 会員募集

下田市在宅介護者の会は、ご自宅でご家族を介護している方たちの仲間づくり、情報交換やリフレッシュの場として活動しています。会員同士で集まり話をするほかに、健康体操や輪投げなど身体もリフレッシュすることや、介護に関する勉強会も開催しています。ご参加希望の方は見学できますので、お気軽にお問い合わせください。



(問合せ先/下田市社会福祉協議会 0558-22-3294)

下田市 社会福祉協議会 求人のご案内	訪問介護業務		デイサービス業務 (下田市デイサービスセンター)		
	職種	ホームヘルパー (パートタイム)	介護職員 (フルタイム)	介護職員 (パートタイム)	調理補助 (パートタイム)
 採用担当 ☎0558-22-3294	業務	訪問介護業務全般	デイサービス業務全般		調理補助と配膳
	資格	・ヘルパー2級または 介護職員初任者研修修了者 ・普通自動車免許	・介護福祉士 ・普通自動車免許	・普通自動車免許	・普通自動車免許
	給与	時給1,200円～	162,100円/月～(賞与有)	時給1,050円～	時給1,000円
	期間	年度毎1年更新			
	募集	随時			

※応募の際はハローワークの紹介状が必要です。

令和6年2月15日現在